



津軽一統の物語がドラマリーディングで鮮やかに甦る
 弘前城築城を計画した弘前藩の祖・津軽右京大夫為信を主人公に、為信が津軽一統を成し遂げるまでの激闘の日々を描く

Reading live

津

MANJI

城の物語

原作：知坂 元

脚本・演出：畑澤聖悟

出演／弘前市出身神 敏将 (劇団民藝)・弘前市出身梶野 稔 (劇団民藝)・ほか地元出演者の皆様

■公演／8月23日(水) 弘前市民会館 大ホール

開演時間：14：00～／18：30～

■入場料：一般／3,000円、大学生／1,000円、高校生以下無料

為信は長くて濃い髭を持ち、見上げるほどの大男であったという。そして、主家から領土を奪い取った下克上の人である。

出自は定かでない。南部氏支族で下久慈城主であった久慈氏の出とも、大浦守信の子とも言われる。いずれ、永禄10年(1567年)、南部の一族である大浦氏の養子となった(当時、津軽は南部氏の支配下にあった)。大浦家を継いだ為信は突如石川城を攻め、南部宗家から津軽統治を任されていた城主・石川高信を自害に追い込んだ。その後、大光寺、浪岡などの城を次々と攻略し、勢力を拡大する。そして時の天下人・豊臣秀吉にいち早く恭順の意を示し、領土を安堵された。南部家を裏切り、篡奪した津軽を見事に独立させてしまったのである。為信の人となりについて、弘前藩の記録では「聡明絶倫、文武兼備」の英雄であるとし、南部藩の記録では「性狡猾、謀略寧奸」の大悪人であるとしている。このあらましを考えれば当然のことである。

さて、弘前城の城郭面積が全国の五指に入るといふ事はあまり知られていない。表高4500石(実高10石)の小藩にしては不自然な程、広い。英雄であろうが大悪人であろうが、この城を企画した(実際に築城したのは子の信枚)為信という武将が只者でなかったことは間違いない。為信は天文19年(1550年)の生まれだから、武田信玄より29歳、織田信長より16歳、年下である。戦国時代後期から近世にかけての人物なのだが、奇道権道の戦ぶりは斉藤道三や北条早雲など戦国初期の大名のイメージに近い。いわゆる「切れるワル」である。

為信があと20年早く生まれていたら、今川から伊豆を切り取った早雲が更に小田原を欲したように、津軽一國に満足せず出羽や南部も飲み込んだかも知れない。天下を獲り、津軽幕府を開いてしまう可能性だってゼロではない。

そんなことを夢想しながら、希代の英雄、そして希代の悪人、津軽為信の活躍をお楽しみいただければ幸いである。



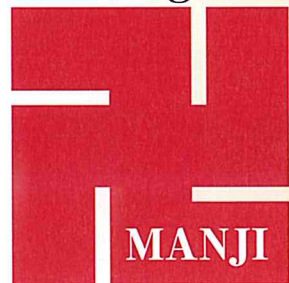
主催：弘前芸術鑑賞会／後援：弘前市・弘前市教育委員会・弘前観光コンベンション協会

■お問い合わせ／弘前芸術鑑賞会事務局(11:00~18:00)／〒036-8203 弘前市本町69(弘前市民劇場隣り)
 mail:hirosakigeikan@gmail.com 担当：水戸(携帯090-7329-5751)





Reading live



城の物語

原作：知坂 元
脚本・演出：畑澤聖悟

津軽一統の物語がドラマリーディングで鮮やかに甦る

弘前城築城を計画した弘前藩の祖

津軽右京大夫為信を主人公に

為信が津軽一統を

成し遂げるまでの

激闘の日々を描く



リーディングライブ「正の城物語」に
出演・参加していただける方を
募集します！

出演者 応募締切 6月15日(木) 募集！

年齢・性別・経験は問いません
下記に必要事項を記入の上、事務局まで
メールまたは郵送、お電話にてご応募ください

■募集キャスト

お芝居に興味のある方（リーディング）／効果音
演奏（和楽器・管楽器等）／特技をお持ちの方
神楽／囃子（ねぶた・お山参詣・神楽）

■オーディション日時

6月22日(木) 18:30～ 会場：弘前市民会館
6月24日(土) 13:00～ 会場：弘前市民会館

※下記のスケジュールに参加できる方、都合の悪い方はお問い合わせください

■リハーサル・稽古

7月17日(月・祝)・18日(火) 弘前市民会館
8月21日(月) 10:00～ 弘前文化センター
8月22日(火) 9:00～ 弘前市民会館 大ホール

■公演

8月23日(水) 弘前市民会館 大ホール
・公演時間 14:00～ 18:30～

お名前
住所
電話番号 (連絡のとれるもの)
希望キャスト
自己アピール (演奏できる楽器・特技等)

※オーディションの詳細内容は、後日事務局からご連絡します

■主催・応募先／弘前芸術鑑賞会

〒036-8203 弘前市本町 69 (弘前市民劇場隣り)
mail:hirosakigeikan@gmail.com
担当：水戸 (携帯 090-7329-5751)



後援：弘前市・弘前市教育委員会・弘前観光コンベンション協会